



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

# 報道で見る氷上西高 2018

神戸新聞 平成31年3月29日（金）

## グルメや観光スポット、イベント…

「生徒に地元への愛着を感じてほしい」（担当の戀木宏美教諭）と企画し、昨年10月から週2回の授業「メディアデザイン」や放課後に町内を巡った。表紙には、紅葉で知られる高源寺（同市青垣町松倉）の写真を採用。「青垣へようこそ」と、1文字ずつ書いた紙を持つ生徒8人が写り、読者を歓迎する。

1人で見開き2ページを担当した。赤木昂雅さん(17)はポイントの一つ、パラグライダーを紹介。友人と一緒に体験した際の写真を8枚載せ「分かりやすく説明してもらい、安心してフライト体験ができる」などとPRしている。

他の生徒たちも、グルメ特集▽アマゴのつかみ取りやニジマス釣りができる「あまご村」▽毎春秋に開かれ、飲食店や雑貨店などが出店する「八宿祭り」▽地元産の生辛を使ったこんにゃく「まるちゃん」などが人気の道の駅あおがき▽

## 氷上西高生8人が情報誌作成

### 「調べると地元が好きになった」



氷上西高の年間行事などをB5判全18ページで紹介。普段からコンピュターについて学んでいるだけに、写真加工ソフトなどを駆使し、デザインにもこだわった。

町内の公共施設で無料配布する予定。同高のウェブサイト「氷上西高生が作る青垣ホームページ」でも見られる。

青垣町の魅力を発信する情報誌を作った生徒たち  
|| 氷上西高校

# 青垣の「一押し」一冊に

丹波市青垣町の魅力を発信しようと、地元の氷上西高生（丹波市青垣町佐治）の2年生8人が情報誌「青垣ウォーカー」を作成した。町内各所で見て感じて感じた情報をまとめ、一押しのごみや観光スポット、イベントなどを紹介している。

（藤森恵一郎）

ふるさと兵庫100山に選ばれている岩屋山などを取り上げた足立凌さん(17)は「青垣は何もないと思っていたけど、調べるとたくさん紹介したいところがあった。地元が好きになった」と郷土愛を深めていた。